

気軽に読める福祉の情報誌

に niiji じ

— NO.133 —

■■■■■■■■■■ niOkuji ■■■■■■■■■■
もくじ

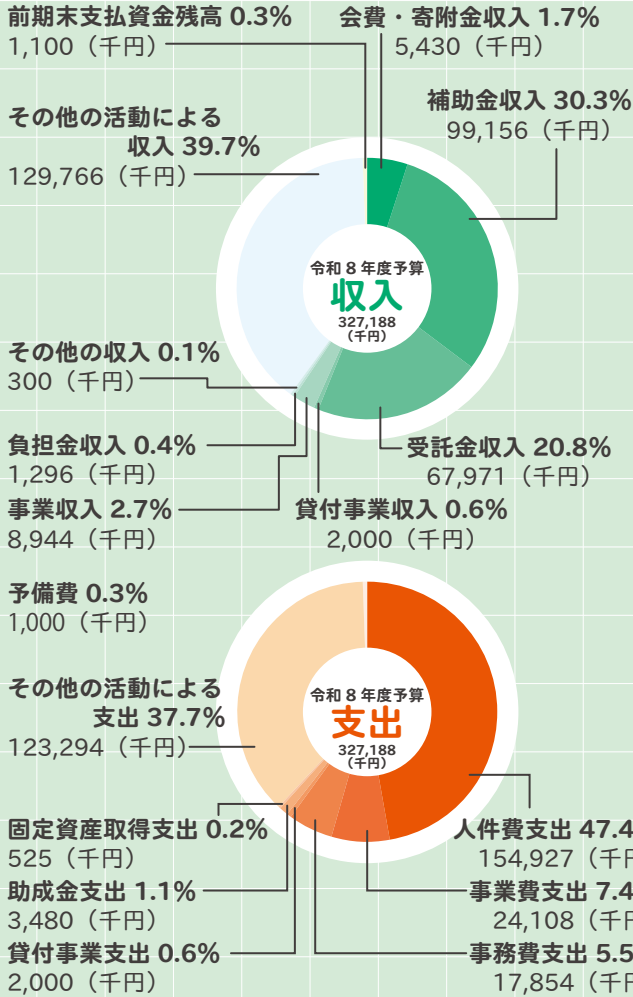
- 表紙-黄色い帽子
- 令和8年度事業計画・予算、アンケート結果
- 「子ども食堂」から「地域食堂」へ
- やってみよう！手話、千々石老人福祉センター橋荘、寄附
- 日本赤十字社活動資金・奉賛金、法律相談



それは、
ただの帽子じゃない。
見守る黄色。
見守る未来。

新入学児童黄色い帽子配付事業
6ページに記事掲載

令和8年度 事業計画・予算



地域福祉を取り巻く環境は、少子高齢化や核家族化、社会的孤立の進行に加え、生活困窮や日常生活の支援を必要とする方への対応が急務となるなど、課題が深刻化しています。こうした中、「地域福祉の推進」を使命とし、市民の皆様をはじめ、自治会、民生委員・児童委員、社会福祉法人、企業、各種団体等とともに、地域共生社会の実現に向け積極的に取り組んでまいります。

また、本年度は「第4期雲仙市地域福祉計画・地域福祉活動計画」及び「第2期雲仙市社会福祉協議会基盤強化計画」の策定年にあたります。市民の皆様や関係団体からのご意見、本会が把握している地域課題を集約・協議し、「助け合い、支え合いで育む 福祉のまちづくり」を基本理念として、雲仙市と協働して計画策定を推進します。

本会は次の基本事項を掲げ、組織内の連携と専門性をさらに強化するとともに、関係機関との緊密な連携・協働を図りながら、各種事業に取り組んでまいります。

Pick Up!! その巻!

① 包括的な支援体制の基盤づくり

- ◆ 福祉総合相談事業
- ◆ 広報啓発活動の推進



◆ 福祉教育等支援事業



雲仙市地域福祉計画・雲仙市地域福祉活動計画に基づいた事業の推進

Pick Up!!

2 地域住民主体の地域福祉事業の推進

- ◎ 雲仙市地域福祉計画・雲仙市地域福祉活動計画及び基盤強化計画について
- ◎ 雲仙市地域福祉計画・雲仙市地域福祉活動計画の基本目標達成のための事業の推進
- ① 包括的な支援体制の基盤づくり
- ② 地域で支え合い、助け合う仕組みづくり
- ③ 安心して福祉サービスを利用できる環境づくり
- ④ 安全で安心して暮らせる地域づくり

1 地域福祉推進に向けた基盤の強化

- ① 会員制度の理解と加入の促進
- ② 組織基盤の強化

Pick Up!! その参!

③安心して福祉サービスを利用できる環境づくり

- ◆生活支援体制整備事業
(生活支援・就労的活動支援)



◀「居場所づくり」を目指した研修会「それいば」の開催。

- ◆認知症高齢者等見守りネットワーク推進

中学生や地域の方と一緒に高齢者等見守り声かけ訓練▶



- ◆新入学児童黄色い帽子配付事業
- ◆支援対象児童等見守り強化事業
- ◆視覚障害者生活訓練事業



◀普段は点字の触読訓練や白杖を使った歩行訓練等を行いながら、年に数回研修も。写真は橘神社の大門松。

- ◆手話通訳者設置事業
- ◆福祉用具等貸出事業
- ◆日常生活自立支援事業
- ◆日常的金銭管理サービス事業
- ◆会福祉資金貸付事業
- ◆生活福祉資金貸付、臨時特例つなぎ資金貸付事務
- ◆緊急食料支援事業
- ◆食糧等支給事業

Pick Up!! その式!

②地域で支え合い、助け合う仕組みづくり

- ◆ボランティアセンター整備事業
- ◆ふれあい・いきいきサロン事業
- ◆地域福祉活動団体支援事業
- ◆小地域活性化活動振興事業



◀小地域活性化活動振興事業を活用した高田自治会(瑞穂町)、地域食堂

- ◆長崎県共同募金会雲仙市支会事務局運営
- ◆雲仙市戦没者慰霊奉賛会事務局運営
- ◆雲仙市連合遺族会事務局運営
- ◆日本赤十字社長崎県支部雲仙市地区事務局運営
- ◆各種福祉団体の事務支援と連携強化
- ◆指定管理施設の適正な管理・運営

Pick Up!! その四!

④安全で安心して暮らせる地域づくり

- ◆災害対策支援の推進



◀Moreリアル防災 サバイバルキャンプ 災害発生から避難所生活、炊き出し訓練まで。

- ◆法人後見事業
- ◆成年後見制度利用促進に係る中核機関業務

Q2自由記述(抜粋:左下の二次元コードを読み取り、全ての回答をご覧ください)

▼居場所作り、不登校の子に限らず、色んな世代が集えるサロンのような場所があればいいと思います。行ったら誰かと話せる、時にはものづくりや講演などのイベントがあって、多世代の人と関われるようなそんな場所がほしい。「気軽に相談できる存在」でいてもらえることが一番ありがたいなと感じています。困ったときに最初に思い浮かぶ場所、ちょっとしたことでもつながれます。安心感があると、地域の人たちも心強いと思います。

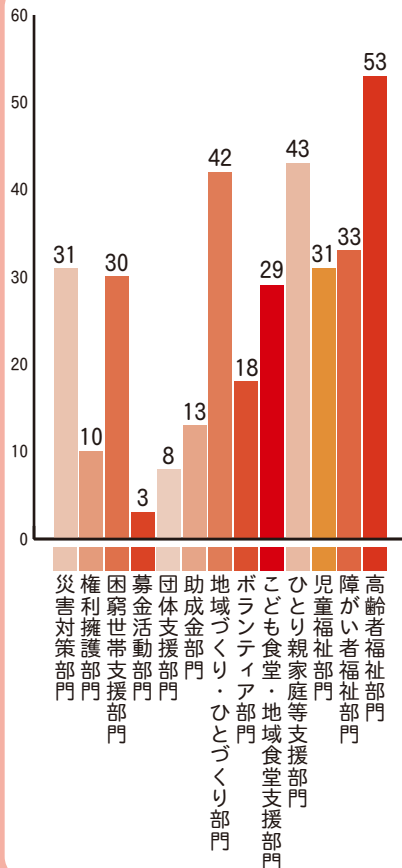
▼社協には行政では手の届かない細かな支援をお願いしたいです。(行政とも連携しながら)

▼本当に困っている人、悩んでいる人、そして、そういう時に声を出せない人に寄り添える、声をかけることができる、弱い人にどこまでも優しい雲仙市社会福祉協議会であってほしいと願っております。

▼社協の業務は多岐にわたり、細やかで温かい支援をしてくださるので、どれも差はなく、選び難かったです。そのため一人当たりの負担が大きく、職員不足ではないのかが心配になります。可能ならば職員を増やし、これまで以上に誰もが頼れる社協さんであってほしいです。



タブレットやスマートフォン等で読み取り、ご覧ください



令和8年度事業実施に向けたアンケート「雲仙市社会福祉協議会に求めるものとは？」結果報告

視覚に障がいのある方への支援

本会では、雲仙市から委託を受け、視覚に障がいのある方の日常生活に必要な訓練と指導を行う「視覚障害者生活訓練事業」を行っています。



小さな点字を指先で読むということはとっても難しいんですよ
 ◀何と書いてあるでしょう読んでみてください。

日常生活の向上を
目指した訓練

- ① 点字触読訓練
- ② 白杖を使用した歩行訓練
- ③ 交流会
- ④ 視察研修
- ⑤ その他

ミュージックフェスタ in えんがわ



視覚障害者生活訓練事業

お気軽にご相談ください

雲仙市社会福祉協議会 0957-37-2855



令和8年度実施予定
(4月～9月)

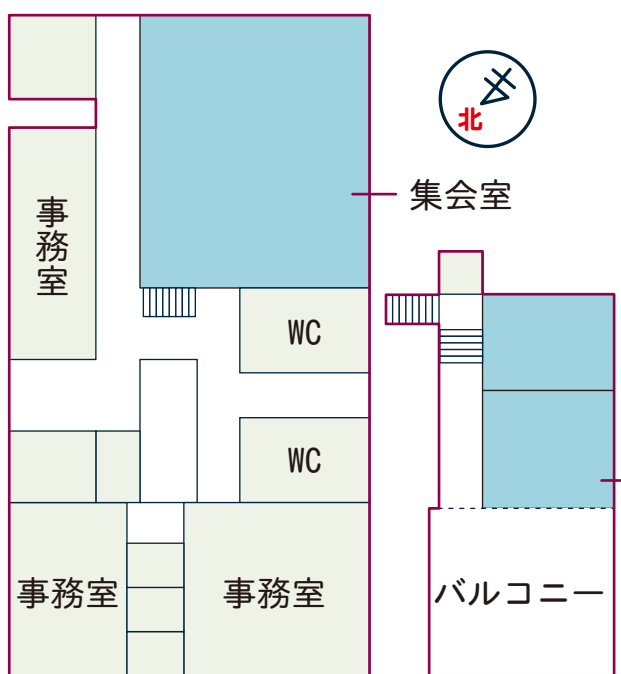
令和8年4月8日(水)

4月15日	(水)
4月22日	(水)
5月13日	(水)
5月20日	(水)
5月27日	(水)
6月3日	(水)
6月10日	(水)
6月17日	(水)
7月8日	(水)
7月15日	(水)
7月22日	(水)
8月5日	(水)
8月19日	(水)
8月26日	(水)
9月9日	(水)
9月16日	(水)
9月30日	(水)

利用者の声

▼少しずつですが、点字が読めるようになりました。
 ▼ここに来ると同じ仲間がいて前向きになれます。
 ▼視察研修やイベント等もあり毎回が楽しいです。
 ▼ボランティアの皆さんに感謝しています。
 ▼毎回楽しみにしています。

千々石老人福祉センター橘荘 見取り図



※空調利用の場合は、別途空調利用料が必要となります。

▼2階和室 100円/1時間 (10畳2間)

▼集会室 300円/1時間 (80畳)

千々石老人福祉センター橘荘
ご利用のご案内



「こども食堂」から「地域食堂」という名の居場所へ

最近、こども食堂という名前を聞くことが多くなり、雲仙市社会福祉協議会でも「地域食堂」を実施していません。大切なことは、こども食堂は、お金がなく困っている家庭を助ける場所ではないです。今では、もつと広い意味をもつた地域食堂として形を変えてきています。全国的にこども食堂が始まった頃は、ごはんを食べるのが難しい子どもたちを助けたという思いでこども食堂を運営されていきましたが、続けていけるうちに、来る人たちの顔ぶれが少しずつ変わってきました。学校から帰って一人で過ごす子、家ではなかなか話し相手がない高齢者、地域のことを知りたがい若い人、子育て中でちょっと疲れてしまったお母さんやお父さん。いろんな人がここに来るとホッとすると行って集まるよくな場所になったのです。そこで気づかれたこと。こども食堂は、みんなの居場所になっていくこと。ごはんを食べるだけでなく、

おしゃべりをしたり、宿題を見てもらったり、地域の人と仲良くなったり、年齢も立場も関係なく、誰でも安心していられる空気があります。そこは、困っている人だけが来る場所ではなく、誰もが気軽に来ることができるところになってきているのです。だから今、多くのこども食堂は地域食堂と呼ばれるようになってきました。それは、貧困支援という以前の目的だけではなく、地域の人がつながり、助け合い、笑い合える場所をつくる活動へと形を変え、広がっているのです。地域食堂は、特別な人のための場所ではありません。あなたのための場所であり、みんなのための場所でもあります。誰かが誰かを助けるだけでなく、そこでみんなが自然と支え合える、そんな暖かい場所なのです。今回から、あなたの知らないレストランも、こども地域食堂から地域食堂に、名称を変更した理由はここにありません。ここにきてよかったですと思える居場所が、雲仙市でも広がっていくことを願っています。



食をつなぐ

「つなぐBANK うんぜん」の

仲間

本会が支援対象児童等見守り強化事業の一環で「つなぐBANK うんぜん」として行っているフードバンクに、たくさんの方々から食材等を提供して頂いていますので紹介します。

令和8年2月～3月

- 平野唯弘 様
- 栗原賢二 様
- 株式会社アムザ 様
- EBARU 様
- 株式会社HIRO 様
- セブン・イレブン雲仙吾妻店 様
- セブン・イレブン雲仙愛野店 様
- セブン・イレブン雲仙千々石店 様
- セブン・イレブン雲仙小浜マリナ店 様
- ファミリーマート愛野展望台店 様
- 安勝寺 様(おてらおやつクラブ)
- 雲仙市青少年子ども育成会議吾妻支部 様
- 雲仙市青少年子ども育成会議愛野支部 様
- 環境政策課 様
- Amazon「みんなで応援」プログラム協力者 様

ありがとうございました。



地域でも活用
本会が行う「あなたの知らないレストラン」でも活用しています

つなぐBANK うんぜん
2カ月に1度、フードバンクとして支援に活用します



セブン・イレブン雲仙愛野店
市内のセブン・イレブン及びファミリーマート各店舗にてフードドライブ実施中です

平成 No.51

①手の平を下に向け水平に置く。
②そのまま内側から外側に動かす。

☆平成の「平（たいら）」な様子を表現しています。

昭和 No.50

①親指と人差し指を向かい合わせにして、幅を広げて伸ばし、首元に充てる。
②首に沿って前方に動かす

☆昭和に流行した、学生服等の高い襟（カラー）を表現しています。

令和4年5月発行のVol.109より「やってみよう!手話」を掲載していますが、今号よりナンバーを通し番号に統一します。

福祉教育のご案内

地域のすべての人が福祉を分ごととして理解し、行動できるようにするために福祉教育を実施しています。学校の他、自治会を主体とした地域住民や企業、団体等を対象に行っています。ご希望の際はお気軽にご連絡ください。

内容（抜粋）

- ▼福祉講話
- ▼福祉体験
- ▼その他（高齢社会体験ゲームコミュニケーション、防災関係等）

黄色い帽子を配付しました

赤い羽根共同募金の助成金を財源として、令和8年度の雲仙市内16の小学校及び島原特別支援学校南串山分教室に入学する児童に対して、295個の黄色い帽子を配付しました。

車やバイク、自転車を運転する皆さん、登下校の時間等、黄色い帽子をかぶった子どもたちを見かけたら、なお一層の安全運転をよろしく願います。

表紙の記事

福祉巡回車のご寄附

雲仙市における地域福祉に活用するために、生命保険協会長崎県協会様より、福祉巡回車をご寄附いただきました。

より一層質の高い福祉サービスの提供に最大限活用させていただきます。

生命保険協会 長崎県協会様
ありがとうございます

大切に活用します

新入児童黄色い帽子配付事業

黄色い帽子を配付しました

表紙の記事



ありがとうございました

香典返し寄附

皆様からの寄附金は、雲仙市の地域福祉活動の財源として活用されます。

雲仙市社会福祉協議会への寄附は、税制上の優遇措置の対象となります。

令和8年
2月1日
3月31日

国見支所

- ◆ 宮 本 明 典 様 篠原
- 故宮本キミエ 様
- ◆ 平 田 政 文 様 小路
- 故平田フミエ 様
- ◆ 松 田 芳 人 様 川原田
- 故松田キサコ 様
- ◆ 前 田 孝 志 様 今出
- 故前田ナツエ 様
- ◆ 三 浦 正 博 様 船津中央
- 故三浦トシヨ 様
- ◆ 松 手 一 義 様 南下原
- 故松手美代子 様
- ◆ 塩 田 昭 浩 様 北下原西
- 故塩田シゲヨ 様
- ◆ 小 田 伸 吾 様 南下原
- 故小田 克己 様
- ◆ 酒 井 信 子 様 南下原
- 故小田 岩夫 様
- ◆ 瑞穂支所
- ◆ 岩 永 雅 之 様 岡
- 故岩永 徳子 様

吾妻支所

- ◆ 宮 崎 洋 光 様 伊古
- 故佐々木貴義 様
- ◆ 尾 崎 謙 一 郎 様 栗林
- 故尾崎 百合 様
- ◆ 竹 田 貞 明 様 河内
- 故竹田ミスヨ 様
- ◆ 長 田 幸 男 様 高田
- 故長田カツコ 様
- ◆ 松 本 伸 也 様 夏峰
- 故松本 義光 様
- ◆ 小 田 涼 子 様 岡
- 故小田 孝雄 様
- ◆ 平 田 良 孝 様 河内
- 故平田 芳子 様
- ◆ 馬 渡 勉 様 大熊一
- 故馬渡テルヨ 様
- ◆ 田 口 兼 三 様 牛口四
- 故田口キクノ 様
- ◆ 本 多 好 史 様 吹ノ原
- 故本多 弥覚 様
- ◆ 清 田 憲 一 様 牛口三
- 故清田 郁代 様

愛野支所

- ◆ 平 野 康 夫 様 中阿母
- 故平野 恵子 様
- ◆ 宮 崎 英 明 様 中阿母
- 故宮崎 良子 様
- ◆ 小 川 貴 義 様 栗林
- 故小川 吉彦 様
- ◆ 松 田 奈 美 様 河内
- 故松田 英樹 様
- ◆ 馬 場 洋 子 様 栗林
- 故馬場 保 様
- ◆ 植 木 雅 男 様 牛口東
- 故植木 學 様
- ◆ 植 田 光 枝 様 中阿母
- 故植田 要 様
- ◆ 羽 山 勝 弘 様 横田
- 故岩永コユキ 様
- ◆ 本 多 伸 也 様 大熊一
- 故本多 利晃 様
- ◆ 泉 徹 様 浜口
- 故泉 房子 様
- ◆ 木 戸 秀 美 様 川端
- 故木戸 自桂 様
- ◆ 千々石支所
- ◆ 吉 岡 美 由 紀 様 八ヶ島
- 故吉岡 勝己 様
- ◆ 西 尾 和 子 様 白津
- 故西尾 英明 様

小浜支所

- ◆ 進 藤 貞 子 様 山ノ上
- 故進藤 拓 様
- ◆ 鶺 殿 勝 様 脇浜
- 故鶺殿 壽満子 様
- ◆ 西 山 美 枝 子 様 南湯ノ崎
- 故中田 宗男 様
- ◆ 茂 洋 子 様 茂尾
- 故藤本 昭信 様
- ◆ 吉 田 恵 子 様 加美
- 故吉田 義之 様
- ◆ 菊 池 ル ミ コ 様 北野
- 故菊池 哲生 様
- ◆ 田 中 一 夫 様 下山領
- 故田中 清 様
- ◆ 南串山支所
- ◆ 富 永 義 彦 様 西浜
- 故富永富貴恵 様

ご逝去された方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、ご遺族のご厚情に対しまして心より感謝申し上げます。なお、個人情報保護法に基づき、同意を頂いた方のみ掲載しております。

長崎県戦没者慰霊奉賛会 奉賛金



長崎県戦没者慰霊奉賛会では、各世帯に対して奉賛金のご協力をお願いしています。

▼目安額
一世帯 60円

「日本赤十字社活動資金」 「長崎県戦没者慰霊奉賛会奉賛金」

日本赤十字社活動資金

日本赤十字社は、毎年5月を「赤十字運動月間」として、全国一斉に活動資金の募集を行っている。日本赤十字社長崎県支部雲仙市地区におきましても、福祉推進員（自治会長）を通じて、地域の皆さんに活動資金への協力をお願いしています。



また、日赤災害救
援車の管理にも活用
しています。

雲仙市内でお寄せいただいた「活動資金」は、定められた基準で（割合）で雲仙市戦没者慰霊奉賛会に助成されます。雲仙市からの補助金と合わせて、先の大戦において平和の礎となられた雲仙市出身の3,300余柱に感謝の誠を捧げるべく、雲仙市戦没者追悼式を執り行っております。

雲仙市での 「活動資金」の使われ方

雲仙市での 「活動資金」の使われ方

雲仙市内でお寄せいただいた「活動資金」は、定められた基準で（割合）で交付金として雲仙市地区に交付されます。災害発生時の支援物資として被災された方にお渡しする他、市内各所にAEDを設置し、管理しています。

協力をお願い

弁護士相談のご案内

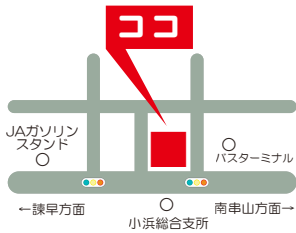
生活上の法律問題について、
弁護士が無料で相談に応じます。
秘密は固く守られます。

令和8年9月2日（水）
担当弁護士
宮木 光 先生

令和8年8月5日（水）
担当弁護士
曾場尾 雅宏 先生

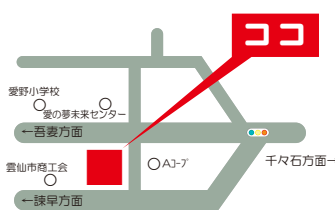
令和8年6月4日（木）
担当弁護士
宮木 光 先生

小浜 老人福祉センター



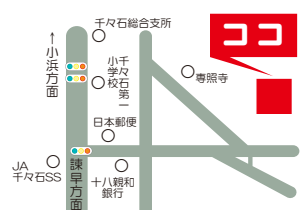
-小浜支所-
雲仙市小浜町北本町14番地3
0957-75-0620

愛野 保健福祉センター



-愛野支所-
雲仙市愛野町乙493番地6
0957-36-0071

千々石 老人福祉センター橋荘



-千々石支所-
雲仙市千々石町戊762番地
0957-37-2855



先着順で予約を受け付けていますので、お早めにご予約ください。
弁護士が抱えている案件の都合上、相談を受けることができない場合もあります。



社会福祉法人
雲仙市社会福祉協議会
<http://unzenshakyō.net/>

〒854-0405
長崎県雲仙市千々石町戊 762 番地
TEL 0957-37-2855 FAX 0957-37-2564

国見支所 TEL 0957-78-0596 瑞穂支所 TEL 0957-77-3670 吾妻支所 TEL 0957-38-3511
愛野支所 TEL 0957-36-0071 千々石支所 TEL 0957-37-2755 小浜支所 TEL 0957-75-0620
南串山支所 TEL 0957-88-2143

雲仙市社会福祉協議会



広報誌に掲載した写真を差し上げます。事業企画課（0957-37-2855）までご連絡ください！
※対象外の写真もあります。